

2025年2月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウィル・ドウ
コード番号 5617 URL <https://www.willdo.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 澤田 真一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 後藤 真菜美 TEL0596（64）8280
中間発行者情報提出予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期中間期の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年2月期中間期	316	5.0	41	△3.0	41	△2.6	27	△2.5
2024年2月期中間期	301	-	43	-	42	-	28	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	138.29	-
2024年2月期中間期	141.82	-

- （注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 当社は、2023年2月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2024年2月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。
3. 当社は、2023年9月15日の臨時株主総会決議に基づき、同日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を実施しております。2024年2月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株あたりの中間純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年2月期中間期	493	238	48.5
2024年2月期	463	211	45.6

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 238 百万円 2024年2月期 211 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	0.00	0.00
2025年2月期	0.00		
2025年2月期 （予想）		-	-

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2025年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	704	13.1	102	28.8	101	28.1	71	35.4	356.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	200,000株	2024年2月期	200,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	－株	2024年2月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	200,000株	2024年2月期中間期	200,000株

（注）当社は、2023年9月15日の臨時株主総会決議に基づき、同日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を実施しております。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（中間期）につきましては、当該株式分割が2024年2月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の拡大もあり、緩やかな回復傾向が続いております。一方で世界的な資源価格の高騰や過度な円安の進行等、先行きが不透明な状況が続いております。

美容業界においては、来店数の増加、値上げによる顧客単価の上昇など、緩やかな回復傾向が続いております。

このような環境の中、より効率的でデータドリブンなサロン経営への取り組みは推進され、当社が属する SaaS（注）業界への期待、重要性はますます高まっており、業界のデジタル化は継続して加速しております。

当社は美容業界向け顧客管理システム「Salons Solution」、電子カルテサービス「ペンギンカルテ」、電子契約書サービス「けいやくん」を提供しております。

「Salons Solution」においてはエンドユーザーがより予約を取りやすく、予約の動機に繋がる機能を追加いたしました。また、新しい決済端末との連携や多数の機能改善をリリースいたしました。

電子カルテサービス「ペンギンカルテ」は体組成計連携時の機能改善、カルテの利便性向上に寄与する表示速度の改善をリリースいたしました。

電子契約書サービス「けいやくん」においては消費者トラブルを防ぐための「説明交付確認書」の発行機能の追加や、新たに信販会社2社との連携、エンドユーザーのスマートフォンでお支払いができるクレジット決済機能の追加を行いました。また、美容医療への展開強化のため自由診療向け電子カルテ「メディカルフォース」（提供 株式会社メディカルフォース）との連携を開始いたしました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は 316,694 千円（前年同期比 5.0%増）、営業利益は 41,762 千円（同 3.0%減）、経常利益は 41,722 千円（同 2.6%減）、中間純利益は 27,657 千円（同 2.5%減）となりました。

なお、当社は単一セグメントのため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

（注）インターネットを經由してユーザが利用できるソフトウェアの開発、提供を行う事業

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の財政状態につきましては、次のとおりです。

（資産の部）

総資産は493,221千円（前期末比29,709千円増）となりました。流動資産につきましては、282,795千円（同 33,681千円増）となりました。これは主に、現金及び預金の増加43,530千円及び前払費用の減少7,081千円等によるものです。固定資産につきましては、210,425千円（同3,972千円減）となりました。これは主に、有形固定資産の減少2,431千円及び無形固定資産の減少928千円等によるものです。

（負債の部）

総負債は254,249千円（前期末比2,051千円増）となりました。流動負債につきましては、171,049千円（同 7,091千円増）となりました。これは主に、未払消費税等の増加12,196千円及び未払法人税等の減少5,745千円等によるものです。固定負債につきましては、83,200千円（同5,040千円減）となりました。これは、長期借入金の返済による減少5,040千円によるものです。

（純資産の部）

純資産につきましては238,972千円（前期末比27,657千円増）となりました。これは、中間純利益の計上による利益剰余金の増加27,657千円によるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は175,056千円（前期末比 37,529千円増）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主要要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は55,689千円（前年同期は43,203千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益41,722千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8,120千円（前年同期は54,093千円の使用）となりました。これは主に、無形

固定資産の取得による支出2,599千円及び定期預金の預入による支出6,001千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10,040千円(前年同期は45,000千円の使用)となりました。これは、長期借入金の返済による支出5,040千円及び社債の償還による支出5,000千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の業績予想につきましては、2024年4月15日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	191,130	234,661
売掛金	11,098	7,043
商品	687	474
仕掛品	-	20
前払費用	20,222	13,140
未収入金	25,918	27,331
その他	55	123
流動資産合計	249,113	282,795
固定資産		
有形固定資産		
建物	79,423	79,423
減価償却累計額	△326	△2,288
建物(純額)	79,096	77,135
構築物	5,027	5,027
減価償却累計額	△20	△146
構築物(純額)	5,006	4,881
工具、器具及び備品	3,366	3,366
減価償却累計額	△439	△783
工具、器具及び備品(純額)	2,926	2,582
土地	30,612	30,612
有形固定資産合計	117,642	115,211
無形固定資産		
ソフトウェア	14,770	13,625
ソフトウェア仮勘定	1,188	1,405
無形固定資産合計	15,958	15,030
投資その他の資産		
繰延税金資産	6,174	6,174
長期前払費用	335	253
敷金及び保証金	826	296
保険積立金	73,461	73,461
投資その他の資産合計	80,797	80,184
固定資産合計	214,398	210,425
資産合計	463,512	493,221

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,555	2,644
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	10,080	10,080
未払金	31,078	35,070
未払費用	672	730
未払法人税等	19,810	14,064
未払消費税等	2,220	14,416
契約負債	76,879	74,144
預り金	7,175	10,026
賞与引当金	4,485	4,871
流動負債合計	163,957	171,049
固定負債		
長期借入金	88,240	83,200
固定負債合計	88,240	83,200
負債合計	252,197	254,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	201,314	228,972
利益剰余金合計	201,314	228,972
株主資本合計	211,314	238,972
純資産合計	211,314	238,972
負債純資産合計	463,512	493,221

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	301,653	316,694
売上原価	38,231	40,421
売上総利益	263,422	276,272
販売費及び一般管理費	220,356	234,509
営業利益	43,065	41,762
営業外収益		
受取利息	1	13
匿名組合投資利益	-	329
助成金収入	267	-
その他	2	9
営業外収益合計	270	352
営業外費用		
支払利息	-	372
社債利息	42	21
匿名組合投資損失	474	-
営業外費用合計	516	393
経常利益	42,819	41,722
税引前中間純利益	42,819	41,722
法人税、住民税及び事業税	14,455	14,064
法人税等合計	14,455	14,064
中間純利益	28,363	27,657

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	42,819	41,722
減価償却費	3,541	5,959
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△244	385
受取利息及び受取配当金	△1	△13
支払利息	-	372
社債利息	42	21
匿名組合投資損益 (△は益)	474	△329
売上債権の増減額 (△は増加)	785	4,055
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△126	192
未収入金の増減額 (△は増加)	46	△1,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△317	1,088
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,700	12,196
契約負債の増減額 (△は減少)	7,164	△2,734
その他	3,114	14,376
小計	51,599	75,879
利息及び配当金の受取額	1	13
利息の支払額	△42	△393
法人税等の支払額	△8,355	△19,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,203	55,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,669	-
無形固定資産の取得による支出	△5,423	△2,599
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,001
その他	-	480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,093	△8,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40,000	△5,040
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,000	△10,040
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55,889	37,529
現金及び現金同等物の期首残高	167,219	137,527
現金及び現金同等物の中間期末残高	111,329	175,056

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

（セグメント情報）

当社は、Salons Solution事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。